

## 作新学院大学 ティーチング・ポートフォリオ

所属	氏名	作成日
経営学部スポーツマネジメント学科	齊藤 麗	2024年5月1日

### 【責務】(何をおこなっているのか/担当授業科目その他)

#### ◆前期

基礎ゼミナール 10

研究ゼミナール 1

研究ゼミナール 3

研究ゼミナール 5

フィールドワーク A

フィールドワーク B

プレインターンシップ

スポーツ科学実技 A1 (スポ)

スポーツ科学実技 A1 (経営)

スポーツ組織論

論文作成法

経営組織論特殊研究 I

経営学特別演習 I

経営学特別演習 III

研究指導

#### ◆後期

基礎ゼミナール 20

研究ゼミナール 2

研究ゼミナール 4

研究ゼミナール 6

スポーツ科学実技 A2 (スポ)

スポーツ科学実技 A2 (経営)

経営学総論 B

スポーツと社会科学

スポーツビジネス論

経営組織論特論

経営組織論特殊研究 II

経営学特別演習 II

経営学特別演習 IV

研究指導

### 【理念】(どのような考えに基づいて行っているか)

私は、様々な教育活動を通じて、学生の思考力、想像力、問題発見力、課題解決能力等、人間としての強みとされる能力を高めることを目指している。特に、経営学部では「学修力」、「資格取得力」、「就業力」を得られるようサポートしているため、こうした能力を獲得できることも目指している。

これから AI 時代を迎える。そのような社会に対応できる人材を育てることは、大学としての重要な役割である。そのため、本学の建学の精神である「作新民」の精神とともに、「自学・自習」、「自主・自律」の教育理念に基づき教育活動を実践する。

### 【方法】(その考えをどうやって実現しているか)

講義科目については、学生への一方的な講義にならないよう、質問する場や回答する場等を設け、学生が主体的に学べる場を提供している。そのために、できる限り最新の情報を提供しよう心掛けている。また、視覚教材を活用しながら、授業を展開している。さらに、外部講師を招聘し、実践的な学びができるよう努めている。終了後には、リアクションペーパーに簡単な課題と授業の感想を記入させ、その内容を次回の授業冒頭に一部講評するなど、学生との双方向的なコミュニケーションを図るよう意識している。

学外実習科目については、プロスポーツクラブのボランティア活動に参加し、クラブ運営を体験させることで実践的な学びが得られるよう工夫している。また、学生にスポーツイベントを企画・立案させ、実際に運営させることで、身をもって体験できる機会を授業の一環として提供している。スポーツイベントの企画・立案については、グループワークを実施し、学生個人の主体性を引き出すとともに、学生同士の協力関係を築き、相互に成長し合える環境づくりに努めている。

その他、ゼミナール科目については、組織論に関する著書を輪読し、基礎的な知識を身に付けさせ、4 年時の卒業論文の作成に向け、研究発表とディスカッションを繰り返している。それにより、物事を客観的に捉え、自らの思考を論理的に説明できる能力を身に付けることを目指している。

### 【成果】(その方法を行った結果、どうなったか、どうだったか。自身の感想・具体的な成果物・学生からのコメントなど)

上記の方法により授業を実践することで、学生の授業への意欲や集中力が増していると考えられる。また、授業終了後に提出するリアクションペーパーについても具体的なコメントや質問等が記載され、質の向上が見られる。それらに加え、学外での授業体験を重ねることで新たな学びや気づきが得られていると感じている。特に、学外での活動を通じて学生の自主性が高まっていると感じている。さらに、学外において様々な体験をすることで、知識力や考える力等が養われているように感じている。特に、少人数で実施しているゼミナールにおいては、研究の問題意識がより明確になるとともに、学生間のディスカッションが活発になっている。

### 【目標】(今後どうするか)

今後も学生が人間としての強みを獲得できる機会を提供するために、連携組織や関係組織等と連携しながら、学内外での授業内容を発展させたい。また、ゼミナールでは他学年との繋がりが薄いため、ゼミナール全体でのイベント等を企画し、交流を深めていきたい。